

魚津市出身の若者による進学・就職に関するアンケート

調査結果報告書

令和6年1月

魚津市役所地域協働課定住応援室

本報告書では、以下のとおり定義する。

- ① 魚津市進学・就職アンケート
- ② (再)魚津市進学・就職アンケート

1. 調査の背景・目的

この報告書(アンケート)は、魚津市出身の若者の進学・就職に関する実態調査を通して、Uターン強化対策を検討するために活用します。

また、②(再)魚津市進学・就職アンケートについては、①魚津市進学・就職アンケートの設問16で、県外の高等教育機関に進学した方を対象に、「県外の学校に進学した理由」の設問を用意していましたが、実際は回答者に表示されていなかったことが発覚したため、10/16～31の期間で、本設問について再度回答を依頼したものです。

2. 調査対象

- ① 魚津市出身者のうち、少なくとも以下のいずれかに該当する方

(1) ふるさと魚津発県外学生応援事業申請者(R2～3年度実施)

R2年度 345名

R3年度 40名

(2) 富山県労働政策課の調査(高校等卒業時)で

県及び市町村からの情報を受け取ると回答した者(R4～5年県内高校等卒業者)

R4年卒業 193名

R5年卒業 230名

計 808名

(送付数 791名、あて所不在 17名)

- ② ①において、メールアドレスを回答した者
計 161名

3. 調査方法

- ① 対象者の実家宛てに調査内容を郵送し、
富山県電子申請サービスを使用したインターネットでの回答
- ② 対象者のメールアドレス宛に送信し、
富山県電子申請サービスを使用したインターネットでの回答

4. 調査期間

- ① 令和5年9月8日(金)～令和5年10月10日(火)23:59
- ② 令和5年10月16日(月)～令和5年10月31日(火)23:59
※②は追加設問による再調査(設問16)

5. 調査結果の回収状況

- ① 回収数 179
うち有効回答数 179
有効回答率 22.2%(少数第2位四捨五入、分母808)
- ② 回収数 108
うち有効回答数 108
有効回答率 67.1%(少数第2位四捨五入、分母161)

6. 調査結果の概要

魚津市出身の若者(学生、社会人)に進学や就職に関するアンケートを実施。進学・就職先を決定する上で重視したことや、富山県に居住している・していない理由、魚津市の住

む場所・働く場所としての評価などを回答いただいた。本結果を基に、魚津市出身の若者の考え方を理解し、Uターン施策などに活用したい。

7. 調査詳細

※別紙「魚津市進学・就職アンケート回答結果」を参照

【3】職業

学生 69.8%、その他社会人等 30.2%

現役学生からの回答が多い。

【5】居住地(富山県以外)

石川県 21.1%、東京都 18.4%、神奈川県 9.6%、京都府 7.9%

地方区分では、中部地方 43.1%、関東地方 34.3%

【6】居住地(市町村)

魚津市 85.7%

実家があることが要因と考えられる。

【11】高校の所在地

新川地区 73.2%

近隣の高校へ進学している。

【15】大学・大学院の所在地(予定を含む)

石川県 24.6%、東京都 16.4%、富山県 13.4%

石川県は大学が13校あり、隣県であることが要因と考えられる。

【16】県外の高等教育機関に進学した理由 ※複数回答(最大5)

学びたい学問が富山県の学校になかった 52.3%、学力の都合上 33.8%、
県外で生活したかった(土地として) 27.7%、都会への刺激を求めて 23.1%、
親元を離れて生活したかった 21.5%

今回、学んでいる学問についての設問は省略したため、どういった学問が人気かは不明。県内には、大学が4校あり、総合大学もあることから、ある程度学部はそろっていると考えられる。よって、学びたい学問がないではなく、「県内で学べる学問を把握していない」可能性も考えられる。

【18】富山県(地元)に居住し続けている理由 ※複数回答(最大5)

家族がいる 81.6%、実家で生活できる 52.6%、金銭的負担が少ない 47.4%、友人がいる 42.1%、県外へ出て行く理由がなかった 36.8%

家族への愛着があることと、金銭的負担がないことが主な要因となっている。人との関係性と金銭面が重要なポイントと考えられる。

【19】一度は県外へ出たが、現在富山県に居住している理由(Uターンした理由)

※複数回答(最大5)

親がいる 57.1%、慣れ親しんだ場所で生活したい 46.4%、就職の都合上 42.9%、金銭的負担が少ない 39.3%、実家で生活できる 35.7%

設問【18】同様、親やふるさと(場所)への愛着があることが主な要因となっている。他にも移住の決定打として強い「就職先(仕事場所)」や金銭的負担が少ないことも要因としてあげられている。

【20】富山県に居住していない理由(Uターンしない理由を含む)※複数回答(最大5)

進学 of 都合上 84.3%、就職・転職の都合上 23.5%、親元を離れて生活したい 13.0%、富山県で生活するよりも今の生活の方がメリットが多い 11.3%、生活環境が充実している 9.6%

進学や就職・転職の都合が主な理由。その他としては、自立や県外での生活の充実度があげられている。富山ではできない生活を求めているよう。

【21】将来富山県に居住したいか(住む場所として)

魚津市に居住したい 32.8%、富山県内に居住したい 24.1%、富山県に居住したくない(県外に居住したい) 13.8%、決めていない(分からない) 29.3%

住む場所としては、56.9%が富山県内に居住したいと回答。富山県での住みよさは感じられているよう。

【22】将来富山県に居住したいか(働く場所として)

魚津市に居住したい 13.8%、富山県内に居住したい 28.4%、富山県に居住したくない(県外に居住したい) 24.1%、決めていない(分からない) 33.6%

働く場所としては、「住む場所として」と比較すると、「魚津市に居住したい」の割合が低下。一方で、「富山県に居住したくない(県外に居住したい)」の割合が増加している。特に働く場所としては、富山県内に居住したくないと思っている割合が高い。

【24】Uターンする際にあれば嬉しい支援

金銭的支援(交付・給付) 79.3%、

職業斡旋 7.8%、住居探し 5.2%、引越補助 6%

金銭的支援を求める割合がほとんど。移住(引越)にはお金がかかると思っているよう。

【25】魚津市出身の友人・知り合いの傾向

魚津市に住んでいる 59%、魚津市以外の富山県内に住んでいる 12.9%

県外に住んでいる 28.1%

県外の高等教育機関へ進学している割合がほとんどという点から、高校卒業後に就職の場合、魚津市内に住んでいる可能性が高いと思われる。

【26】移住する(居住地を決定する)のに重視すること【要因】

仕事 30.3%、利便性(交通の便・商業施設が多い等) 21.3%、

環境(気候、自然、治安等) 13.5%、慣れ親しんだ(住み慣れた)土地・環境 13.5%

仕事や利便性を重視している。

【27】住む場所としての魚津市の評価(1~10段階、10が最も良い)

8 :21.2%(最頻値)、7 :20.7%、10 :15.1%

やはり、住む場所としては魚津市出身の若者からも、高い評価を得ている。

【28】働く場所としての魚津市の評価(1~10段階、10が最も良い)

5 :26.4%(最頻値)、6 :16.9%、4 :15.7%

働く場所となると、評価が下がる。働く場所や働きたい場所がないと思われるよう。

【30】帰省した時の過ごし方 ※複数回答(最大11)

実家に泊まる 87.1%、友人と食事 83.6%、親と食事 81.0%、

帰省中は、親や友人と時間を過ごしている割合が高い。

【31】働き方(仕事)に関する考え方 ※複数回答(最大5)

安定した職場 55.6%、福利厚生が充実 53.9%、やりがいを感じられる 44.9%、

育児休業取得 32.0%、成長できる職場 31.5%

安定や福利厚生の充実に加え、やりがいなども重視している。また、育児休業取得も上位にランクインした。性別に関係なく育児休業を取得したいと考えているよう。共働きがほとんどの社会において、育児休業取得は重視されていると考えられる。

【34】勤務地

富山県 50%、東京都 13.5%、愛知県 5.8%、大阪府 5.8%

県内が半数、その他は主要都市がほとんど。

【35】勤務地(市町村)

富山市 30.8%、魚津市 19.2%、滑川市 11.5%、黒部市 11.5%

県内勤務者のうち、富山市勤務の方が最も割合が高い。次いで、魚津市内、隣接市と続いている。

【36】富山県で就職することを検討したか ※複数回答(最大8)

富山県の就職先について調べた 56%

富山県で就職する可能性が少しでもあった(富山県での就職を検討したことを含む) 52%

富山県で就職する予定は一切なかった 28%

富山県の就職先について調べた方や就職する可能性が少しでもあった方が5割以上いる。一方で、富山県で就職する予定は一切なかった方が3割程度いる。

【37】富山県で就職しなかった理由 ※複数回答(最大13)

県外の方が、就職先の選択肢が多かった 50.0%

県外の仕事の方が給料が良い 38.5%

県外の仕事の方が魅力的だった 34.6%

就職の選択肢として、県外の方が選択肢が多く、その分、給料や魅力的な内容の仕事を見つけやすいと考えられる。

【39】プレゼントキャンペーン応募について

応募する 84.5%

回答者のほとんどが、応募している。

【クロス集計表】

クロス集計表については、特に結果が表れている項目について、抜粋します。

同居人数×居住地

	富山県	県外(国外を含む)	総計
1人(1人暮らし)	8	107	115
2人	5	5	10
3人	11	2	13
4人	21		21
5人	9		9
6人以上	9	2	11
総計	63	116	179

	富山県	県外(国外を含む)	総計
1人(1人暮らし)	13%	92%	64%
2人	8%	4%	6%
3人	17%	2%	7%
4人	33%	0%	12%
5人	14%	0%	5%
6人以上	14%	2%	6%
総計	100%	100%	100%

県外居住者は92%が1人暮らし。

県内居住者は4人暮らしが33%で最も割合が大きい。

居住地×性別

	男性	女性	回答しない	総計
富山県	26	37		63
県外(国外を含む)	48	67	1	116
総計	74	104	1	179

	男性	女性	回答しない	総計
富山県	35%	36%	0%	35%
県外(国外を含む)	65%	64%	100%	65%
総計	100%	100%	100%	100%

性別差はない。回答者の65%は県外に居住。

居住形態×居住地

	富山県	県外(国外を含む)	総計
アパート・マンション	9	96	105
持ち家	10		10
寮・社宅・シェアハウス等	2	19	21
実家	42		42
その他		1	1
総計	63	116	179

	富山県	県外(国外を含む)	総計
アパート・マンション	14%	83%	59%
持ち家	16%	0%	6%
寮・社宅・シェアハウス等	3%	16%	12%
実家	67%	0%	23%
その他	0%	1%	1%
総計	100%	100%	100%

県内居住者は実家が67%。県外居住者はアパート・マンションが83%。

県内居住者は実家の割合が高く、県外居住者はアパート・マンションの割合が高い。

最終学歴(予定を含む)×性別

	男性	女性	回答しない	総計
高校卒業	8	12		20
専門学校卒業	2	15		17
高等専門学校卒業		1		1
短期大学卒業	1	6		7
大学卒業	56	64		120
大学院修了	7	6	1	14
総計	74	104	1	179

	男性	女性	回答しない	総計
高校卒業	11%	12%	0%	11%
専門学校卒業	3%	14%	0%	9%
高等専門学校卒業	0%	1%	0%	1%
短期大学卒業	1%	6%	0%	4%
大学卒業	76%	62%	0%	67%
大学院修了	9%	6%	100%	8%
総計	100%	100%	100%	100%

学歴の性別差はほとんどない。

大学所在地×性別

	男性	女性	回答しない	総計
北海道	1	2		3
宮城県		1		1
秋田県	1			1
茨城県		1		1
栃木県		1		1
群馬県	1			1
埼玉県		2		2
千葉県	1			1
東京都	15	7		22
神奈川県	3	3		6
新潟県	3	5		8
富山県	6	12		18
石川県	14	19		33
福井県	3			3
長野県	2	3		5
岐阜県	3			3
静岡県		2		2
愛知県	5	3		8
三重県		1		1
京都府	2	5		7
大阪府		2		2
兵庫県	1	1		2
岡山県			1	1
山口県	1			1
大分県	1			1
総計	63	70	1	134

	男性	女性	回答しない	総計
北海道	2%	3%	0%	2%
宮城県	0%	1%	0%	1%
秋田県	2%	0%	0%	1%
茨城県	0%	1%	0%	1%
栃木県	0%	1%	0%	1%
群馬県	2%	0%	0%	1%
埼玉県	0%	3%	0%	1%
千葉県	2%	0%	0%	1%
東京都	24%	10%	0%	16%
神奈川県	5%	4%	0%	4%
新潟県	5%	7%	0%	6%
富山県	10%	17%	0%	13%
石川県	22%	27%	0%	25%
福井県	5%	0%	0%	2%
長野県	3%	4%	0%	4%
岐阜県	5%	0%	0%	2%
静岡県	0%	3%	0%	1%
愛知県	8%	4%	0%	6%
三重県	0%	1%	0%	1%
京都府	3%	7%	0%	5%
大阪府	0%	3%	0%	1%
兵庫県	2%	1%	0%	1%
岡山県	0%	0%	100%	1%
山口県	2%	0%	0%	1%
大分県	2%	0%	0%	1%
総計	100%	100%	100%	100%

東京都、石川県、富山県が多い。

男女とも、石川県の高等教育機関に進学した割合が高い。

県内から近い都市であるうえ、高等教育機関の数が充実していることが理由と考えられる。(石川県の大学数 13 大学)

県外での居住有無(中学卒業後から現在まで)×性別

	男性	女性	回答しない	総計
県外に居住したことがある	62	78	1	141
県外に居住したことがない (富山県でしか居住したことがない)	12	26		38
総計	74	104	1	179

	男性	女性	回答しない	総計
県外に居住したことがある	84%	75%	100%	79%
県外に居住したことがない (富山県でしか居住したことがない)	16%	25%	0%	21%
総計	100%	100%	100%	100%

県外居住経験有は 79%。

一方で、21%は県外での生活を経験せず、高等教育機関への進学や就職をしている。

将来の居住意思【住む場所として】(県外在住者の考え)×性別

	男性	女性	回答しない	総計
魚津市に居住したい	14	24		38
富山県内に居住したい	11	17		28
富山県に居住したくない (県外に居住したい)	8	7	1	16
決めていない (分からない)	15	19		34
総計	48	67	1	116

	男性	女性	回答しない	総計
魚津市に居住したい	29%	36%	0%	33%
富山県内に居住したい	23%	25%	0%	24%
富山県に居住したくない (県外に居住したい)	17%	10%	100%	14%
決めていない (分からない)	31%	28%	0%	29%
総計	100%	100%	100%	100%

性別差はあまりない。魚津市・県内に居住したいは 57%。

住む環境としては、比較的満足していると推測できる。

将来の居留意思【働く場所として】(県外在住者の考え)×性別

	男性	女性	回答しない	総計
魚津市に居住したい	4	12		16
富山県内に居住したい	12	21		33
富山県に居住したくない (県外に居住したい)	14	13	1	28
決めていない (分からない)	18	21		39
総計	48	67	1	116

	男性	女性	回答しない	総計
魚津市に居住したい	8%	18%	0%	14%
富山県内に居住したい	25%	31%	0%	28%
富山県に居住したくない (県外に居住したい)	29%	19%	100%	24%
決めていない (分からない)	38%	31%	0%	34%
総計	100%	100%	100%	100%

「魚津市に居住したい」が男性より女性の方が 10%高い。

魚津市に居住したい割合が、住む場所よりも低くなっている。(33% → 14%)

県内に居住したいかについても、働く場所として捉えた場合は 42%と割合が低い。

Uターン可能性タイミング×性別

	男性	女性	回答しない	総計
就職	19	36		55
結婚	6	4		10
妊娠・出産・子育て開始	1	6		7
子育て終了後 (子どもが高校卒業)	1	1		2
退職後	5	6		11
老後	4	3		7
家族の介護	2	6		8
富山県に居住する 可能性はない	2		1	3
分からない	8	5		13
総計	48	67	1	116

	男性	女性	回答しない	総計
就職	40%	54%	0%	47%
結婚	13%	6%	0%	9%
妊娠・出産・子育て開始	2%	9%	0%	6%
子育て終了後 (子どもが高校卒業)	2%	1%	0%	2%
退職後	10%	9%	0%	9%
老後	8%	4%	0%	6%
家族の介護	4%	9%	0%	7%
富山県に居住する 可能性はない	4%	0%	100%	3%
分からない	17%	7%	0%	11%
総計	100%	100%	100%	100%

就職が47%と最も高い。

女性は、54%が就職を機にUターンする可能性があるとして回答した。

移住決定打×性別

	男性	女性	回答しない	総計
仕事	23	31		54
環境（気候、自然、治安等）	9	15		24
利便性 （交通の便・商業施設が多い等）	18	20		38
慣れ親しんだ（住み慣れた） 土地・環境	15	9		24
安全安心な土地 （災害・犯罪が少ない等）	2	5	1	8
医療機関の充実		1		1
家族が近くにいる	1	18		19
知り合いがいる	1	2		3
恋人・配偶者の関係	1	3		4
その他	3			3
総計	73	104	1	178

	男性	女性	回答しない	総計
仕事	32%	30%	0%	30%
環境（気候、自然、治安等）	12%	14%	0%	13%
利便性 （交通の便・商業施設が多い等）	25%	19%	0%	21%
慣れ親しんだ（住み慣れた） 土地・環境	21%	9%	0%	13%
安全安心な土地 （災害・犯罪が少ない等）	3%	5%	100%	4%
医療機関の充実	0%	1%	0%	1%
家族が近くにいる	1%	17%	0%	11%
知り合いがいる	1%	2%	0%	2%
恋人・配偶者の関係	1%	3%	0%	2%
その他	4%	0%	0%	2%
総計	100%	100%	100%	100%

男性：①仕事、②利便性、③慣れ親しんだ（住み慣れた）土地・環境

女性：①仕事、②利便性、③家族が近くにいる

男女とも、1位：仕事、2位：利便性が移住決定打として重視している。③は男性は「慣れ親しんだ土地・環境」、女性は「家族が近くにいる」が3位となった。

8. 所感

魚津市に居住し続けている人やUターンした人の理由の上位には、「親・家族がいる」が挙げられている。よって、家族との時間を幼少期から密接に持ち、家族への愛着が高まると、地元(魚津市)に戻ってくる可能性が高くなるかもしれない。また、魚津市に居住していない人も、住む場所としての魚津市の評価が高い傾向にあることから、魚津市のことを毛嫌いしているわけではないと考えられる。進学・就職・生活環境を理由としており、ある種仕方の無い理由だろう。

若者が魚津市で働き暮らしたいと思ってもらえるような環境を整えるとともに、Uターンする可能性のあるターニングポイントや帰省時のアプローチ、魚津市出身者がいつ魚津市に戻ってきても迎え入れるための助成制度や体制を整えることが、戻ってきた人にとって「魚津市でよかった」と思ってもらえるきっかけになると思われる。若者を強制的にUターンさせるのではなく、県外で頑張る魚津市出身の若者を全力で応援し、戻ってくる際には全力で受け止め・喜べる、そんな魚津市を目指していきたい。